

中学受験サポート方針ロジカルシンキングシート

記入日：20 年 月 日 お子様の氏名： 学校学年：

※このシートは、お子さんの中学受験を成功させた保護者の方々の思考方法を、発問形式のワークシートにしたものです。率直に問いに答えていってください。

※塾通いがこれからの方、転塾予定の方は、候補の塾を念頭に置いて取り組んで下さい。

※時と場合により、ロジカルシンキングは痛みを感じる場合があります。苦しい時は無理をせず、早めにご相談ください。

Step 1. スタート地点の確定

お子さんの学習について改善したい点が →ある ⇒Step 2. へ進む

↓ない

お子さんの学習について先々の不安が →ない ⇒Step 6. へ進む

↓ある

不安に思う内容・時期が（ 明確である ・ なんとなく ）

◇「明確である」方へ・・・不安の内容を具体的に記述してみましょう。

不安に思う内容は

ことです。

▽不安が現実のものとなりそうな（なった）時期は[年生の 月ごろ]

▽不安が現実のものとなった時の対処策はどうしますか？ ⇒Step 2. へ進む

◇「なんとなく」感じている方へ・・・まず不安の内容を明確にしておきましょう。

対処策を事前に準備することができ、落ち着いて受験に取り組めます。

▽どうすれば不安の内容が明確にできそうですか？考えられる方法を3つ書き出してください。（例：先々の模試スケジュール・制限時間・レベルを確認する）

すれば、明確にできそうです。

すれば、明確にできそうです。

すれば、明確にできそうです。

▽次に対処法を考えていきましょう ⇒Step 2. へ進む

Step 2. 問題と希望の確認

改善したい内容を具体的に把握しましょう。

現状は何が問題なのでしょう。そして、どうなることを希望していますか？

現状、	
	ということが問題です。
改善された後は、	
	になっていることが希望です。

▽希望をかなえるためのプロセスに入っていきます ⇒ Step 3. へ進む

Step 3. 希望達成のプロセス

希望をかなえるために、次の①～④のプロセスに取り組んでください。

①希望達成プロセスに参加している人は誰？

▽改善が必要であることを、本人は (具体的に知っています・具体的には知りません)

▽改善が必要であることを、家族内で (共有できています・共有できていません)

▽改善が必要であることを、塾の先生と (共有できています・共有できていません)

②改善を実現させるのは誰？

改善は、子ども本人だけで実現することが (できる・できて欲しい・できない)

▽②-1 上記の質問に「やる気になれば」の条件をつけたくなつた方は ⇒ ④ [p.6] へ進む

▽②-2 「できる」と答えた方へ

Q1. お子さんはいつ改善へと動き始めますか？

すでに始めている

今日から開始する

[]年の[]月から開始する

未定

Q2. 「すでに始めている」以外の方へ

お子さんは自発的に始めることができそうですか？

自発的に開始できる

最初だけ[]が指示すれば後は自分でできる

できるかどうか分からない

「できるかどうか分からない」方 ⇒ ③[p.4]へ進む。

それ以外の方 ⇒ Step 6. へ進む

Q1.で「すでに始めている」の方 ⇒ Step.4 に進む

▽②-3「できて欲しい」と答えた方へ

自分の力で自分の道を切り開いていけるように育てて欲しい。多くの方がそう思ってらっしゃいます。できるだけ本人の自発性を待ってあげたい。親としてごく自然な気持ちです。ただし中学受験においては、ここで「締切日」の問題だけは考えておかななくてはなりません。

Q1.お子さんが自分の力で改善していける日が来るのを、いつまで待てますか？

もうタイムリミットが来ていて待てない

[]年生の[]月まで待てる

(期限の根拠は何ですか？)

中学受験日以降まで待てる

分からない

Q2.待てなくなった時の対応を決めてらっしゃいますか？

決めている

考え始めてはいるが決めていない

考え始めていない

◆Q2で「決めている」と答えた方へ

(その内容を具体的に記述しましょう。記述し終えたら③へお進みください)

◆Q2で「決めていない」「考え始めていない」と答えた方へ

今すぐ決められる方 ⇒ 上の欄に記述した上で③に進む

そうでない方 ⇒ ③へ進む

▽②-4 「できない」と答えた方は ⇒③[p.4]へ進む

③本人を助けるのは誰？

改善を進めるにあたって、本人を助けるのは次のうちの誰ですか？あてはまる方全員を選んでください。

(ご家族) 父 母 祖父 祖母 兄 姉 親戚 その他[]

(塾・学校) 塾の先生 学校の先生 その他[]

(個人指導) 家庭教師の先生 個別指導の先生 その他[]

▽③-1 選択が「家族」のみになった方へ

Q1.今までのサポート内容とこれからのサポート内容とは、何を変えますか？

Q2.今までそれを実行しなかった要因は、次のうちの何ですか？あるだけ全部選んでください。

必要がなかった

本人が自発的に行うべきだと考えていた

家族が忙しく時間がない

家族では科目内容を教えられない

塾がやってくれるものだと思っていた

その他[]

⇒Step.4 に進む

▽③-2 選択に「塾・学校」が入った方へ

Q1.協力を得るにはどうすればいいですか？

面談でお願いする

先生に電話をかける

手紙を書く

その他[]

分からない

Q2.いつ協力を依頼しますか？

すでにしている

今週中に

今月中に

まだ決めていない・分からない

Q2. 誰に担当してもらおうか決まっていますか？

頼む先は決めてあり、すぐにも始められる。

候補は3つ以内にしぼっており、一週間以内に決めることができる。

家庭教師派遣センター、個別指導教室にどういったところがあるのか調べている段階

漠然と必要性を感じてはいるが、具体的には行動していない。

その他 []

まだ決めていない・分からない

⇒ Step.4 に進む

④ 「本人がやる気になれば」と感じられた方へ

Q. 「本人がやる気になる」ことは、どうすれば実現すると思いますか？

時間が経てば

周りに影響されて

親が言って聞かせて

第三者の力を借りて

その他 []

分からない

▽④-1 「時間が経てば」と思われた方へ

Q. 具体的にはいつごろ動き出すでしょう？ [年生の 月ごろ]

(時期の根拠は何ですか？)

☆ 塾・テストのスケジュールを確認して考えてみましょう。

▽④-2 「周りに影響されて」と思われた方へ

Q1. 「周り」とは具体的には誰でしょう？

[]

Q2. その環境をお子さんが得るための条件は何ですか？

[]

☆ 塾のクラス、コースなどを具体的に考えてみましょう。

▽④-3 「親が言って聞かせて」と思われた方へ

Q. 今までと何を変えますか？

[]

Step5. 第三者の力の借り方

お子様の学習のサポートする上で第三者の力を借りる時は、以下の項目を確認しましょう。

塾にサポートを期待する場合、どれぐらいの「質」と「量」が期待できるのか確認済みである。

(Yes / No)

学習にかけられる「予算」を家族と話し合っている。

(Yes / No)

自分たちの子ども時代と今と、受験事情の何が同じで何が違うのか具体的に理解している。

(Yes / No)

第三者に期待したいこと(＝家族では上手くいかないこと、手が回らないこと、できないこと)が明確になっている。

(Yes / No)

どうすればいいのか分からない時、自分だけでは解決策を明確にできない時に、相談できる先がある。

(Yes / No)

A.先々の入試で成果を出すためにまず塾での成績を上げるという選択肢

B.塾での成績は後回しにして入試結果だけを追い求める選択肢

A.とB.のいずれを選択するのか、お子さんの性格も合わせて考えている。

(Yes / No)

◆A.の選択をする場合

塾の教材を使って指導してくれ、テストの対策も打つことができる家庭教師・個別指導教室を見つけている。

(Yes / No)

塾の復習と宿題にかかるトータルの学習時間が、家庭でだけ学習していた時よりも短縮できるような学習プランニングを行えている。学習密度と効率が上がる指導が期待できる。

(Yes / No)

◆B.の選択をする場合

塾の宿題は取捨選択するにしても、塾の志望校別特訓講座で自分が入りたいコースに入れるだけの成績は塾のテストで確保できるように、学習プランニングが考慮されている。

(Yes / No)

Step6. 問題の見当たらない方へ

ここに至った方は、計画の面でも実行の面でも受験学習が順調に進んでいる方です。良い調子を保ってこれからもがんばってください。